

北九州e-PORT構想2.0

令和2年度 新ビジネス創出支援補助金

受付
期間

令和2年 9/28 (月) ~ 10/16 (金)

新型コロナウイルスの感染拡大は、新たな日常の模索など世界規模での社会環境の変化を引き起こしました。こうした変化に対応するためには、企業はデジタル技術の活用を積極的に進め、ビジネスの最適化・効率化や新たな付加価値を生み出し、事業の競争優位性を保つことが重要です。本制度では、これらの社会環境の変化に対する新ビジネス創出に向けた実証及び事業化の取組を補助します。

補助対象事業

一般枠 社会環境の変化に対応する新ビジネス創出に向けた実証及び事業化の取組で、右記の要件を満たすもの。

- ▶IT/IoT等のテクノロジーを活用すること
- ▶1企業特有の課題ではなく、実現することでビジネスとして他社への展開が見込めること
- ▶概ね3年以内事業化が見込めること
- ▶提案者が自らサービス/製品の展開を担うことが出来ること

「施設利用における新型コロナウイルス感染対策」

①施設における換気対策、②施設利用者の体温検査(管理)、③施設利用者の名簿作成(利用者把握)、④施設における清掃・除菌これらに該当する提案に対しては、北九州学術研究都市を実証フィールドとして提供などの支援を予定しています

※一般枠の要件は満たす必要があります。

①北九州市内に本社もしくは事業所を有する企業・組合

②①を構成員に含むコンソーシアム

※コンソーシアムとは複数の事業者(企業、組合、研究機関)で構成された、事業を共同連帯して実施する事業体を指します。

補助額

最大 300 万円

※「事業化支援補助」への応募の場合、「実証支援補助」への応募の場合は補助額最大100万円となります。事業化支援への応募でも事業内容により実証支援補助として選定する場合があります。詳細は公募要領をご覧ください。

対象経費

- ①物品費
- ②労務費
- ③その他経費

補助率

中小企業者
補助対象経費の2/3以内
中小企業者以外
補助対象経費の1/2以内

補助対象者

※本補助制度提案にあたっては公募要領をよくお読みいただき内容をご確認ください。

補助事業の流れ

◎従来より申請手続きを大幅に簡素化しました

概要レベルで提案可能

★採択後計画の詳細化を行います

FAISコーディネーターの支援を受けながら作成!

★実証フィールドや有識者の紹介、実証内容についてのアドバイスなど

応募

審査・採択決定

実施計画書作成

交付申請

★実施期間中はFAISコーディネーターによる伴走支援あり

交付決定

補助事業実施

実績報告

補助金精算払

補助期間は交付決定後1年間 ★年度を越した事業実施可能

提出

お問い合わせ先

公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)
イノベーションセンター 情報産業振興グループ
E-Mail : iipc@ksrp.or.jp TEL : 093-695-3077
(担当 : 加藤、万田)

公募要領・応募様式等はこちらからダウンロードしてください
<https://www.e-port.gr.jp/grant.php>

